

管理運営に関する基本的事項

私たちは長年にわたり、協働による里山環境の保全や地域連携によるイベントなど、“丘陵地ならではの公園づくり”を行ってきました。これからはさらに、新しい住民や子どもたち、都心からの来訪者、障がいのある方など、誰もが人生のさまざまなシーンで訪れ、親しみ、主体的に参画し、「心のふるさと」として関わり続けてもらえるような公園へと発展させていきます。

未来につなげる基本理念

みんなの「心のふるさと」～人生とともに歩む公園～



基本理念実現に向けた3つの実施方針

みんなが“キラキラ”居場所づくり

公園を誰もが楽しみ、活躍できる場に！

- ✓親子向けプログラムや読書体験など、家族みんなで楽しく過ごせる子どもたちと保護者の居場所づくり
- ✓ボランティア活動や参加型イベントなどが、若者～高齢者まで多世代が活躍できる居場所づくり
- ✓インクルーシブな自然遊びやパラスポーツ体験、DXを活用した多様な手法で、誰もがともに遊び楽しめる居場所づくり

みんなで“ワイワイ”里山お宝大発掘

新たなニーズと多様な利用に応えます！

- ✓マイクロツーリズムの推進やワークスペースの設置等、多摩丘陵の新たなニーズに応える価値を発掘
- ✓研究機関の調査・研究フィールドとしての活用を推進、結果を公園の魅力アップにつなげ、里山環境の新たな活用の“タネ”を発掘
- ✓防災訓練や激甚化する気象災害に対応した情報の発信等、地域の中での安心・安全な環境の再発掘

みんなと“スクスク”育む豊かな生物多様性環境

丘陵地レンジャーチームが多摩丘陵全体を見守ります！

- ✓丘陵地レンジャーを中心に、各公園で計画的な維持管理作業やモニタリング調査を継続し、生物多様性豊かな環境を保全
- ✓地域と協働で保全活動を行い、子どもたちにも体験の場を提供、未来へ向けて豊かな里山環境を形成
- ✓自然観察会の開催、SNSでの情報発信、生きもの情報のアーカイブ構築で、多摩丘陵の豊かさを未来へ継承

ノウハウ活用

多様な主体と連携できるコーディネートスキルで、誰もが輝く居場所づくりを進めます！

多様な主体と連携し、子どもや若者、障がいのある方など、公園を利用するみんなが個性を發揮して“キラキラ”と輝ける居場所づくりをコーディネート

ノウハウ活用

公園管理の経験豊富な人材を活かして、公園の新たな魅力を発掘する場を提供します！

豊富な経験と人材を活かし、専門機関とも連携を深め、みんなで“ワイワイ”楽しく里山のお宝、公園が持つ魅力を再発掘できる場を創出

ノウハウ活用

長年培った多摩丘陵の生物多様性保全の経験とデータを基に、未来へ残す里山環境を育みます！

丘陵地レンジャーチームを中心に、調査、保全、普及啓発活動に都民を巻き込みながら、貴重な里山環境をみんなと“スクスク”育み、次代を担う子供たちに継承

運営管理計画

多摩丘陵グループの未来を見据え、各公園の特性を活かし、地域の大人や子どもを巻き込んで、みんなの力で「心のふるさと」の魅力を引き出す取組を進めます。

■公園別の将来像（5年後の姿）、管理運営方針と主要取組

長沼公園

変化に富んだ地形が織りなす豊かな生態系 <<すぐそこにある行楽地>>

【特性】沢が入り組む急峻な地形、カタクリ群落、駅徒歩5分、動植物愛好家等の利用

【主な取組】

- ◆都心からの来園を促進 ▶ 特徴的な地形、豊かな生態系アクセスの良さを活かし、沿線鉄道会社と連携し、都心からの来園を促進
- ◆カタクリ等希少種保全の充実 ▶ 専門家、ボランティア・NPOとの協働推進、「多摩丘陵いきものアーカイブス」等での情報発信



里山×自然

平山城址公園

自然環境と史跡の残る都市景観の両立 <<歴史が息づく散策スポット>>

【特性】湧水豊かな谷戸と雑木林、武将平山季重のゆかり、ファミリー層・歴史愛好家等の利用

【主な取組】

- ◆希少植物の生育環境保全の活発化 ▶ ボランティア・NPOとの協働による林床整備、外来種駆除活動。林床整備等による景観・眺望の魅力アップ
- ◆新たな来園を促進 ▶ 長沼公園とひと続きの生態系や史跡等の魅力を活用、沿線鉄道会社や周辺施設等と連携し、新たな来園を促進



里山×歴史

小山田緑地

雑木林、草地、水辺からなる良好な里山環境 <<未来へ残す多摩の原風景>>

【特性】豊富な水辺環境、里山と開放的な草地景観、スポーツ利用、ファミリー層等の利用

【主な取組】

- ◆豊かな環境を子どもたちに継承 ▶ 都民協働の田んぼ活動、地産地消マルシェ“小山田緑市”。地域に残る里山暮らしの文化や生物多様性を継承
- ◆健康づくりの場を提供 ▶ 豊かな自然環境や運動施設の活用、セルフウォーキングプログラム、親子サッカー教室等



里山×暮らし

小山内裏公園

多様な人々と自然がともに生きる憩いの空間 <<都市の中のサンクチュアリ>>

【特性】湧水豊かな谷戸と雑木林、サンクチュアリ、周辺にマンション開発、ファミリー層等の利用

【主な取組】

- ◆サンクチュアリ等生物多様性環境保全と担い手育成 ▶ 近隣大学と連携したプログラム開発、地域の貴重な財産としての魅力を向上
- ◆地域住民の居場所づくりと幅広い世代の交流機会の提供 ▶ 地域住民が運営主体となる“いきいき交流の集い”等居場所づくりの促進



里山×交流

桜ヶ丘公園

防災機能も備えた、里山環境豊かな都市公園 <<いつでも帰りたくなる場所>>

【特性】雑木林と桜・モミジの景観、多摩市広域避難場所指定、ファミリー層等の利用

【主な取組】

- ◆地域の子どもを巻き込んだ多様な連携 ▶ ボランティアと協働の雑木林保全・田んぼ活動、地域と連携した桜の後継樹育成、防災訓練
- ◆誰もが気軽に訪れ楽しめるインクルーシブな公園づくり ▶ 里山環境を活かした多世代参加型アクティビティ“SATOYAMAアウトドアライブ”、パラスポーツ体験 等



里山×安心

■質の高いサービスを提供するための具体的な取組

多摩丘陵が有する魅力ある自然や文化・歴史資源を活かした取組を展開します

<p>多摩丘陵の里山環境や文化に学び、触れる 里山カレッジ事業</p> <p>里山さんぽ自然観察会 (夜の昆虫観察会)</p>	<p>都心から至近のワーケーション環境整備 里山オフィス</p> <p>さとやまっくクラブ (キャスレンジャー体験)</p>	<p>多摩丘陵を研究・調査、結果を利用者へ還元！ 多摩丘陵アカデミックチャレンジ</p> <p>電源や通信環境の整備、リモートワーカーの 交流機会創出等、公園利用の付加価値創出</p>
<p>研究・調査フィールドとしての公園利用を推 進。結果は公園の様々なシーンで活用</p>		

■利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

利用者の声にとことん向き合い、公園管理に反映させます

○「禁止」から「できるために」へ
 : 対面とICTで情報収集→情報蓄積→パークミーティング等対話→検証→管理運営の改善
 ODX活用によるコミュニケーション力+マーケティング力向上

■都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値向上につながる取組

ボランティアや地域とのネットワークを活かすとともに拡大していきます

○地域住民やボランティアが主体となって都心や遠方から訪れた公園利用者とも交流できるイベントを実施
 ○園内でのボランティア活動の継続、拡充のための、交流や参画の機会の創出、SNS等による活動の紹介



■公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

自主財源をまちづくり・利便性・賑わいの観点から公園の魅力づくりに還元します

多様な資金調達クラウドファンディングサポーター基金 企業協賛 イベント参加料

魅力づくりによる収益を公園の還元

つながる里山サミット2025
 多様な団体と共通の課題解決を目指す「里山情報連絡会」を拡充し、連携の成果を都民に還元し、多摩丘陵の魅力をPR

<p>多摩丘陵マイクロツーリズム</p> <p>近隣大学や沿線鉄道会社と連携したパッケージプログラムで都心からのマイクロツーリズムを推進</p>	<p>地産地消マルシェ</p> <p>地域の生産者や障がい者就労支援施設等によるマルシェ</p>	<p>たまQカルチャー</p> <p>外宮臨園による里山カレッジ特別版</p>	<p>さとやまブックファースト</p> <p>どこでも図書館、おはなし会等</p>
--	--	---	---

■東京2020大会レガシーを継承する取組

3つのレガシーに取り組みます

- 誰もが親しめるスポーツ機会の提供 ▶ 丘陵地の健康づくりプログラム
誰もが楽しめるスポーツプログラム
- ホスピタリティ・おもてなし ▶ 協働によるおもてなし花壇、四季の動植物情報のSNS発信 他
- ユニバーサルな社会へ ▶ 記号等を活用した外国人等への配慮、インクルーシブな自然遊び 他

施設維持管理計画

■適切な維持管理を行うための取組

公園とまちの魅力を生み出す「誰もが笑顔になる維持管理」を行います

- 長期的で計画的な維持管理体制の構築 ○安全・安心・快適性の確保
- 地域に愛される里山環境の保全 ○共創の維持管理
- 再生可能エネルギーの導入 ○ユニバーサルデザインへの対応
- ODXの活用



■事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組

平常時から事故や災害に備え、緊急時は利用者の安全第一に迅速かつ的確に対応します

- 事故や災害を未然に防ぐための具体的安全対策 (KY ミーティング、倒木防止等)
- 気象災害・震災・感染症に対するタイムラインによる組織的対応

■施設補修、施設改良に関する要望への取組

総合的観点から優先度を評価し、効果的な補修・改良に積極的に取り組みます

- LINE活用による不具合通報システムによる迅速な情報収集・把握
- 適切な工法・契約方式を採用し、迅速かつ適切に対応

■丘陵地特性を踏まえた植生管理

丘陵地レンジャーを中心に、多摩丘陵一体となって里山環境を未来へ継承します

- 生物多様性の専門人材の丘陵地レンジャーがチームとして5公園を横断的に管理
- ボランティアや子どもたち、地域住民、研究機関等と連携した順応型保全管理の推進

順応型保全管理 公園管理シート(生物多様性版)の作成 定期的な助言・評価 里山景観や生物多様性に配慮した維持管理の実施

内 緑 桜 長 平

多摩丘陵×丘陵地レンジャーチーム

ボランティア 子どもたち 研究機関等 地域住民

- 雑木林保全
- 田んぼ活動
- 竹林管理
- 草地保全
- 畑・野草園活用

丘陵地レンジャー協働での保全活動 田植え(小山田緑地)

■公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

共創の考えのもと6つの視点で新たな維持管理を推進します

<p>(5)ローコスト維持管理</p> <p>施設の長寿命化によるコスト削減</p> <p>効果的な費用支出</p>	<p>(4)循環型維持管理</p> <p>環境に配慮した維持管理</p>	<p>グリーンセッションプロジェクト ~利用者笑顔にする維持管理~</p> <p>トイレ one up!</p> <p>安全性・快適性等の向上を図り、利用しやすくなるトイレに改修</p> <p>ベンチ one up!</p> <p>機能性と芸術性を備えたベンチリノベーション</p>
<p>(3)豊かな里山生態系づくり</p> <p>専門人材による保全活動</p>	<p>(2)パートナーシップの推進</p> <p>里山情報連絡会</p>	
<p>園内生態系の保全</p>	<p>みんなで共創!</p> <p>グリーンセッションプロジェクト</p>	<p>パークミーティング</p>
<p>公園の自然情報・維持管理情報のweb発信</p>	<p>里山景観のライブ配信</p>	<p>ボランティアと連携した里山管理</p>
<p>DXによる業務効率化</p>	<p>(6)DXの活用</p>	<p>(1)季節を感じる里山景観の演出</p>